

西日本エリアを担当した田上より、皆様へご挨拶させていただきます。



たがみ くみこ
田上 久美子



小島 田上 五十嵐

【お客様へ】

こんにちは！今年も大変お世話になりました。皆様とは直接お会いできず残念ではありますが、電話でのやり取りは楽しみにしています。来年もお問い合わせはもううん、たくさんのお注文書もお待ちしていますので、宜しくお願ひ致します！！

【営業担当に一言】

田上→小島

食べ過ぎには気を付けて下さいね！

田上→五十嵐

コーヒーに砂糖入れ過ぎです！

2人とも昨年より成長してます(笑) 小島さん、五十嵐さん、今年も飲わりがウレシかったです。来年も宜しくお願ひします。

東京本社

茨城工場 技術



水谷浩平 石倉昌博 五十嵐竜太
田中大樹 田上久美子 伊東祐子 小島和彦



滝井智弘 大内剛 千葉和典 金田宣明
星訓 浅井信裕

来年も(株)イシザキを宜しくお願いしますm(_ _)m

今月の目次

- ・ご挨拶 (千葉事業部長)
- ・SG型開発秘話
- ・今月の特集 「メンテナンス・テクニショー」 「SG型before and after」
- 「インサイトからのご挨拶」
- ・(株)イシザキ紹介

◇2014年へのカウントダウン◇

今年も残すところ2週間となり、毎年のことではありますが一年の短さをしみじみ感じる時期となりました。年末年始を元気に楽しく過ごせるよう健康管理には十分注意して、新年を迎えたいものです。

さて業界で話題の「スモレンスキ®フットバルブ」。地上でイージーメンテが可能で、省エネ可能なフットバルブを特徴とするこの商品で、お客様のお悩みを解決できるものと確信しております。

また「グランドフットバルブSG」ご使用の皆様には「約3ヵ月～6ヵ月程度に定期メンテ⇒部品交換が可能」のメリットを体感して頂いております。繁忙期を控え、ご予約案件へのご対応はお早めをお願い致します。～いつもご愛顧頂きありがとうございます～



バルブ事業部長
千葉 和典



新商品SG型の秘密！！

【スモレングランドフットバルブ SGの材質選定について】

スモレンスキグランドフットバルブSGの販売開始より8ヶ月程が経過し、ご好評を頂きまして250台の出荷実績を積み重ねることが出来ました。配管からバルブを外さずに点検口からメンテナンス出来る画期的なバルブであり、すでにフット弁の代名詞といっても過言ではない商品と言えます。

これまでのフット弁は、不具合が発生すると使い捨てのような形で新品に交換するのがほとんどでした。これは水中で使用するために、全体的に錆ついてしまうため、錆を除去するのが困難であることが要因としてあげられるでしょうし、出来れば清掃して再利用したいのが心情ではないでしょうか。スモレングランドフットバルブSGは、点検時にバルブ本体をブラシや布巾などで清掃出来るようにステンレス材を選定し、半永久的にご利用出来るようにしました。

ただし、中身の部品は同じようにはいきません。作動もすればゴミがはさまることもありますので簡単に交換・点検できるようにしなければなりません。従来のスモレンのように金属素材となれば重くなり、人の手で持ち上げることもできなくなります。そこで最も軽量化でき、市場の配管に使用されているPVC材を選定しました。

これにより、本体を清掃し、中身の部品は清掃もしくは交換することで長くご利用できます。



フット弁の劣化状況

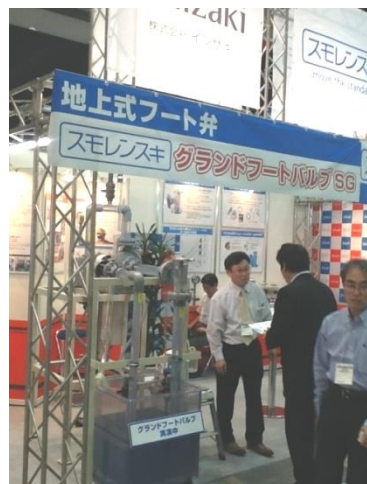


グランドフットバルブSG
- 1 -



別売り：メンテナンス部品

メンテナンス・テクノショーが開催されました




2013年10月30日～11月2日にかけて東京ビッグサイト（東京国際展示場）で展示会に出展しました。工場の設備管理・保全技術に関する国内唯一の専門展示会メンテナンス・テクノショーになります。当日ブースでは、具体的な悩みを相談されるケースが多く、皆様がどれだけ現場で困っているか分かりました。





デモ機 SG-65


ブースの様子


【テクニカルショーに来店頂いたお客様の声】

- 

【化学工場】 明細→SG-100 排液(薬液・溶剤等含む)
・排液のラインで定期的にフート弁が落水してしまう。その度に作業員2人で作業に当たらなければならず苦労している。一台使ってみてよければ他3台も使っていきたい→SG-100 1台発注
- 

【非鉄金属工場】 明細→SG-40 冷却水(工業用水)
・フート弁の不具合が発生した際には、工事業者に依頼をしていた。引き上げられない配管構造なので、水槽の水を抜かなければならず、費用と時間がかかっていた。一度購入して、年内に設置しようと思います。→SG-40 1台発注
- 

【機械メーカー】 明細→SG-80 冷却水(工業用水)
・展示会ではお世話になりました。工場に帰って確認したところ、1か所ですがフート弁使用箇所があり。そこは長期休暇以外は連続運転しているが止めるとフート弁が原因で落水する。まず1台検討していきたい。
- 

【化学工場】 明細→SG-40 排水(場内排水など)
・フートバルブ興味あります。来期になるが。現在自給式ポンプでフート弁は採用していない。場内の色んな所から流れてくる排水。先日もウエスが配管を詰まらせた。フートバルブであればメンテナンスも楽にできるはず。検討をします。
- 

【化学工場】 明細→SG-100 冷却水(工業用水)
・場内でフート弁は15か所ある。平日は24時間運転で土日が停止する。すると週明けにポンプが揚水せず、引き上げ作業から始まる。操業にも影響するし、場所によっては容易に引き上げが出来ない。SGであれば例えば落水したとしても復旧が早くできる。近年の展示会の中で一番面白い製品でした。まず1台試してみたいと思います。

メンテナンスショーでは、現場設備を管理されている方が多く上記以外でも具体的な声が多くございました。展示会から1週間程で購入頂いたケースも数件あり、非常に喜んでいただけました!!!

グランドフートバルブ設置事例【before】



【設置前】
冷却水ラインで末端フート弁を使用している。以前までは、冷却水ラインは全て24時間運転をしていたが、省エネに伴い、休日は運転を停止することにした。
ポンプを止める様になってから、フート弁の不具合が頻繁に発生。引き上げてフート弁を清掃したいが、引き上げ作業をする上で障害となる他の配管が通っており、まっすぐに引き上げが出来ず非常に困っていた。引上げずにフート点検を行える、地上設置型フートバルブに興味があった。

Before



困難・・・




グランドフート設置事例【after】



【設置後】
明細→SG-100 3台
これまで必ず引き上げなければ確認が出来なかったフート弁を止めて、地上設置型を採用した。足場のある、目で確認できる場所で容易にメンテナンスが一人で行える様になり、安心です。

After
担当部署 【動力施設課】



安心



真空計を設置し、可視化して管内の状態を点検している。